TRUSCO
PRO TOOL

POWERFUL TORCH

パワフルトーチ
TB-820BP
TB-820BT

生産物賠償責任保険付

取扱説明書

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございました。
本製品を安全に正しくお使いいただくためにご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき大切に保管してください。



外形寸法：幅150×奥行25×高さ50mm(本体のみ)
重　　量：130g(本体のみ)
燃焼時間：約1時間30分(ボンベ1本)※1
ガス消費量：194g/h(TB-860使用時)※2
　　：169g/h(TB-850使用時)※2
発 熱 量：2.7kW(2,300kcal/h)(TB-860使用時)※2
　　：2.3kW(2,000kcal/h)(TB-850使用時)※2
火 口 径：φ16mm
火炎温度：1,500～1,700℃
点火方式：圧電点火方式

※1 30分の連続燃焼データより換算したものです。
※2 10分間の燃焼データを1時間に換算したものです。

目次

特に注意していただきたいこと……1～2
使用方法……3～4
ロウ付のマメ知識……5～6
日常の点検・手入れ……7
故障・異常の見分け方と処置方法……7

■使用容器（ボンベ）パワフルトーチ専用容器（ボンベ）

POWERFUL GAS TB-850,TB-860

●プロパン混入でパワーアップ
●逆さ使用OK!
　※液体ガスの出にくい吸収体構造



TB-850　TB-860

◆特に注意していただきたいこと

イラストの横にある ⃠ マークは禁止、❗ マークは強制を表します。

⚠ 警告（指示に従わない場合は死亡、または重度の障害を負う可能性があります。）

■使用上の注意



- 着火時および使用中は、火口を人体に向けたりのぞきこんだりしないでください。
- 使用中および使用直後は火口、火口付近が熱くなっていますので可燃物を近づけたり手を触れたりしないでください。
- 容器(ボンベ)は正しくセットしてください。容器(ボンベ)のセットが不十分だとガス漏れ事故の原因となります。
- 火口を対象物に近づけすぎて使用すると輻射熱により器具が破損するおそれがあります。
- 炭の火起こしにご使用の際は、火が起きたらすぐに器具を消火し、火元から離して置いてください。
- 火のついたまま容器(ボンベ)を取り外したり放り投げたりしないでください。やけど、火災のおそれがあります。

■使用容器（ボンベ）の取扱上の注意









- 容器(ボンベ)はトラスコ製品専用容器(ボンベ)(TB-850,TB-860)を必ずご使用ください。
- 容器(ボンベ)に表示されている注意事項をよく読んでからご使用ください。
- 使用容器(ボンベ)は、火気や直射日光(室内や車内の窓際など)を避け、キャップをして風通しの良い湿気の少ない40℃以下の場所に保管してください。
- 使用容器(ボンベ)をファンヒーターの前など熱気のあたる場所に放置しないでください。熱で容器(ボンベ)の圧力が上がり爆発する危険があります。
- 保管してある容器(ボンベ)は、時々点検してサビが発生している場合にはできるだけ早くご使用ください。
- ご使用中は時々、正常に燃焼していることを確認してください。
- 使用容器(ボンベ)を火の中に投じないでください。爆発して危険です。
- 容器(ボンベ)に強い衝撃をあたえないでください。

◆特に注意していただきたいこと

イラストの横にある ⃠ マークは禁止を表します。

警告（指示に従わない場合は死亡、または重度の障害を負う可能性があります。）

■使用済み容器（ボンベ）の処理に関する注意

●容器(ボンベ)にまだガスが残っている場合は、そのまま温度の高い所に放置したり、火の中に投入すると爆発する危険があります。
●容器(ボンベ)は完全に使いきってから他のゴミと区別して捨ててください。

注意（指示に従わない場合は軽傷、または他の財物の損傷を引き起こすことになります。）

■取扱上の注意

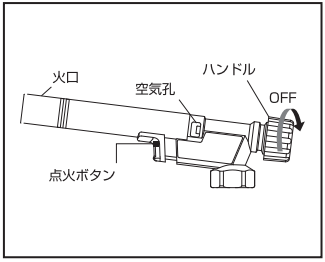
●火口を炭等の燃焼物の中に入れないでください。自動点火装置等を破損するおそれがあります。また本体を加熱対象物に近づけすぎないでください。本体が破損するおそれがあります。
●換気の十分な場所で燃えやすい物や熱に弱い物からは十分離れた場所で使用してください。
●風の強い時は使用しないでください。
●火災は思いもかけぬことから発生することがありますのでご使用の際は火の元に十分ご注意ください。
●火口、空気孔にゴミ、異物を付着させたまま使用しないでください。異常燃焼をおこし故障の原因となるおそれがあります。使用前に必ず付着物のないことを確認してご使用ください。
●緊急時以外で火口を水に浸けて急冷することは避けてください。自動点火装置が破損するおそれがあります。
●火口に指などを入れないでください。指が抜けなくなったりけがをするおそれがあります。
●ご使用にならない時は容器(ボンベ)を取り外して保管してください。
●お子様には使用させないようにしてください。
●お子様の手の届かない所に保管してください。
●保管の際は火口付近が完全に冷めてから、火口や他の部分に虫や土砂が入らないようにして湿気の少ない場所に保管してください。
●ガスの噴出量を絞ったり、ガス残量が少ないときに火口先端部が赤熱することがありますが故障ではありません。但し、この様な状態での長時間の使用は火口先端部の熱による酸化が進み商品寿命が短くなるので避けてください。「故障･異常の見分け方と処置方法」参照

◆使用方法

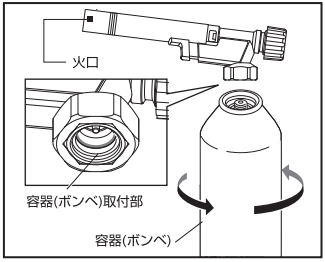
■容器(ボンベ)の取り付け

1.ハンドルをOFFの方向(右)へ回らなくなるまで回し完全に閉じていることを確認します。
2.容器(ボンベ)のキャップを外し、容器(ボンベ)先端部を本体の容器(ボンベ)取り付け部(ネジ式接合部)に正しくセットして矢印方向(右ネジ)に自然に止まる程度よりややきつめに締めます。
※この時強く締めすぎると本体が破損したり、容器(ボンベ)の先端部が破損または変形しガスもれやガスが出にくくなることがありますので注意してください。

1



2



⚠警告

ガス漏れに注意してください。容器(ボンベ)取り付け後、"シュー"というガス漏れの音やガスの臭気がするときは、容器(ボンベ)が正しく取り付けられていませんので、もう一度注意して確実に取り付けてください。それでも"シュー"というガス漏れの音やガスの臭気がするときは、使用を中止して点検・修理を依頼してください。

■点火

ハンドルをONの方向（左）に少し回し、点火ボタンを「カチッ」というまで押して点火します。点火しない場合は、点火ボタンを繰り返し押します。

⚠注意

ガス量が少な過ぎたり多過ぎたりすると点火がしにくくなります。ガス量を調節しながら点火してください。気温、風、湿度等の自然条件により点火条件が変わります。気温が高い時はハンドルの開きを少なめに、気温が低い時はハンドルの開きを多めにして点火してください。

⚠注意

使い初めの容器（ボンベ）を使用する時や35℃以上の高温時には生ガス（気化していない白い霧状のガス）が出て炎が大きく立ち上がることがあります。その際は火のついたまま容器（ボンベ）を垂直に置き、生ガスが出なくなるまで2～3分間燃焼させてから使用してください。

■火力調整

火力の調節は炎を確認しながらハンドルで調節します。

■消火

1.ハンドルをOFFの方向（右）へいっぱいに回し閉じます。
※消火の際に空気孔より小さい炎が一瞬出る場合がありますが異常ではありません。
2.完全に消火したことを確認後作業を終了します。
※容器（ボンベ）を必ず取り外して保管してください。

ロウ付マメ知識

ロウ付って何？

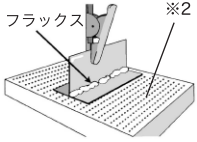
金属を接合する代表的な方法は、多くの工業製品に使われている**溶接**。そして電化製品の基盤や模型造り等に使用される**ハンダ付**が一般的ですが、DIYにおいて溶接は器具が高価な点や技術的にも難しく何よりも資格が必要、またハンダ付は簡単にできますが、接合した金属の接合強度が弱いという難点があります。

その二つの中間にあるのが**「ロウ付」**です。ロウ付とは金属を、それより融点の低い合金（ロウ）を使って接合することを指します。資格も必要なく、やってみると以外に簡単です。接合したい金属（母材)の材質や強度にあわせたロウ材を選んで、ﾊﾟﾜｰﾄｰﾁがあれば始めることが出来ます。それにコレがおもしろいんです。DIY技術のステップアップのためにもぜひマスターしたい技術が**「ロウ付」**です。

ロウ付を始めよう!!

ステップ1：下地処理

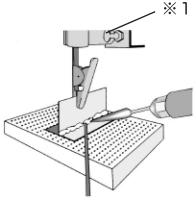
ロウ付面の汚れ、油分を落としサンドペーパー (100~200番) で磨き、ロウ付面にフラックスを塗ります。



ポイント1:フラックスを付けることでロウの流れをよくします。(金属表面の酸化防止のため)
ポイント2:表面処理(メッキ・塗装等)を剥がして地肌を出さないとうまくロウ付できません。

ステップ２：ロウ付

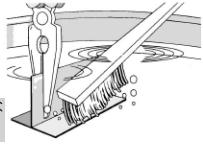
サポートスタンド等を使って、動かないように固定し、いよいよロウ付です。接合したい金属（母材)を加熱します。ロウをさすタイミングは加熱しながら時々ロウを(接合面)母材に当ててみてロウが流れ出す温度が適温です。



ポイント1:ロウ材に直接炎をあてるとロウが溶け落ちてしまいうまくロウ付できません。
ポイント2:接合する金属(母材)を加熱する際、(母材)の材質・大きさが異なる場合、大きい方・熱伝導の悪い方から加熱し、両方とも同時に適温になるよう注意しながら加熱してください。

ステップ３：フラックスの除去

ロウが完全に流れたら、すぐに炎をはなし、ロウが固まり、まだ熱いうちにお湯に入れ真ちゅうブラシなどで洗い落とします。



ポイント1:フラックスの残りが付いていると、サビの生じる原因になりますので、丹念に洗い落としてください。

こんなときは…(ロウが流れない)

原因	対処方法
表面が汚れている	もう一度表面を磨きなおしましょう。
加熱不足	加熱時間を増やしましょう※これでも駄目なときは火力の大きいバーナー(プロパンバーナー)等を使いましょう
ロウ材を直接加熱	接合する金属(母材)の熱でロウを溶かしましょう。
フラックス不足	フラックスを十分塗り直しましょう。

注意：やり直すときは黒い汚れを取り除きステップ１から行ってください。

ロウ材の選び方（Shinfuji Burnerロウ材シリーズ）

Shinfuji Burnerロウ材シリーズでは11種類のロウ材・ハンダを取り揃えております。
用途と目的に合わせたロウ材の選び方をご紹介します。

ハンダ

対象金属　フラックス **RZ-209**

鉄　銅　真鍮　銀　ステンレス

RZ-106
万能ハンダ
難易度1
作業が簡単で入門用に最適

RZ-109
鉛フリーハンダ
難易度1
有害物質の鉛を含まないハンダ

RZ-159
粉末ハンダ
難易度1
微細部のハンダ付に最適

銀ロウ

対象金属　フラックス **RZ-200**

鉄　銅　真鍮　銀　ステンレス

RZ-100
一般用銀ロウ
難易度3
異種金属とのロウ付に最適

RZ-107
細工用銀ロウ
難易度3
装飾・精密部品に最適

RZ-108
強力タイプ銀ロウ
難易度3
強度を必要とするところに最適

RZ-150
粉末銀ロウ
難易度2
初心者向き

アルミロウ

対象金属　アルミ

フラックス **RZ-201** アルミ硬ロウ用

フラックス **RZ-203** アルミソルダー用 ※3

RZ-103
アルミソルダー
難易度3
フラックス使用で異種金属とのロウ付可能

RZ-101
アルミ硬ロウ
難易度5
耐熱性に優れているが難易度が高い

RZ-151
粉末アルミロウ
難易度3
初心者向き

Point!
アルミのロウ付は加熱し過ぎると接合する金属(母材)が溶けてしまうので注意が必要。

リン銅ロウ

対象金属　フラックス **RZ-200** ※4

銅　真鍮

RZ-102
リン銅ロウ
難易度4
高耐食性
フラックス使用で真鍮とのロウ付可能

ロウ材の種類により次のような特徴があります。
- ハンダ…接合強度は弱いが簡単に作業ができます。
- 銀ロウ…強度もあり用途に合わせたロウ材が選べます。
- アルミロウ…アルミ製品のロウ付はアルミロウでしかできません。
- リン銅ロウ…銅製の配管等に適しており耐食性に優れています。



※１：サポートスタンド(RZ-300)
※２：セラミックボード(RZ-400)
※３：純アルミどうしのロウ付にはフラックスは必要ありませんが、作業性向上のためにフラックスのご使用をお勧めします。
※４：銅どうしのロウ付にはフラックスは必要ありません。

◆日常の点検･手入れ

■点検・手入れの際の注意

●日常の点検、手入れは必ず行ってください。
●点検･手入れは消火し、容器(ボンベ)を取り外し火口、火口付近が完全に冷めてから行ってください。
●故障又は破損と思われるものは絶対使用しないでください。
●不完全な修理は危険です。万一具合が悪くなって処置に困るような場合は、お買い求めになった販売店または、当社「お客様相談室」0120-509-849までご相談ください。

◆故障･異常の見分け方と処置方法

現象／原因	火力が弱い	炎の色が赤い	(ガスは出ている)点火しない	ガスが出ない	ガスの臭いがする	炎が吹き切れる	火口先端部が赤熱する※	処理方法
ノズルのつまり	○	○		○			○	点検・修理を依頼する
燃料が残り少ない	○		○				○	新しい容器（ボンベ）と取り替える
容器(ボンベ)の温度が低い	○		○				○	容器（ボンベ）を室内に1時間ほど放置する
ガス噴出量が多い			○					ハンドルをOFFの方向に回しガスの噴出量を少なくする
容器(ボンベ)の温度が高い			○			○		ハンドルを少しOFFの方向に回しガスの噴出量を少なくする
点火装置の故障			○					点検・修理を依頼する
容器(ボンベ)の取り付け不良				○	○			容器（ボンベ）を取扱説明書どおりに取り付ける
ガス噴出量が少ない			○				○	ハンドルをONの方向に回しガスの噴出量を多くする

※火口先端部が赤熱するのは故障ではありません。

総発売元 トラスコ中山株式会社
お客様相談室 0120-509-849
E-mail: techno.center@trusco.co.jp
https://www.orange-book.com/

製造元／PL保険加入済
新富士バーナー株式会社
〒441-0314 愛知県豊川市御津町御幸浜一号地1番地3
TEL0533-75-5000　FAX0533-75-5033
https://shinfuji.co.jp/　E-mail:info@shinfuji.co.jp
MADE IN JAPAN　R0826